

令和3年度自己評価結果公表シート

作成 こでまり幼稚園

1、本園の教育目標

「つよいからだどゆたかな心」という大きな柱の中に、幼稚園では、たくさんの身近な人と関わりを持ち、自分の興味・関心を持ったことを、とことんまで遊び込むことが大切であるという考えのもと、やる気・・・たくさんの遊びを経験し、自分で考え創意工夫する中で、生きていく力を育てる。
こん気・・・遊びや生活の中で、最後まであきらめずにがんばる力を育てる。
元 気・・・あいさつをしっかりと、明るく元気で、自分のことは自分でする習慣を育てるの目標が掲げられている。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育に関する計画や保護者への対応等より丁寧に行う。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	定期的な打ち合わせを設け、教職員間で協力しながら指導計画の編成を行っている。
幼稚園の状況をふまえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	本園がこれから長期的にどのような社会ニーズに応える必要があるか、具体的に検討を続けている。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	教職員自らが自分の課題を見出し、目標を設定。 外部研修に頼らず知識・技術の向上をするための手法を今年度より開始。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる。	幼稚園評価などを通し、保護者からのご意見や社会的ニーズの把握に努め、適切な対応をはかることができるよう、職員会議等で対応の周知をはかり、実践できるようにしている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

昨年度に続き、保護者・職員のアンケート調査を行った。保護者アンケートでは、昨年度以上に保護者の皆様の思いが届いてきた。コロナ禍の中、園は、様々な工夫をしながら毎日を安全に過ごすこと、年間行事の運営を安全に行うことなどを考えながら運営しています。

今回のアンケートを通し、今まで気づくことができなかつたことを気づくことができた内容でありました。保護者の皆様からのアンケートを基に、教職員と話し合いすぐ改善できることから始めております。

引き続き今年の自己評価を行った結果が次年度に反映できるよう、務めていきたい。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	遊具やおもちゃ、教室内等の安全点検は引き続き行っていく。 園庭遊びなど、子どもが広いエリアで遊ぶ時は、教諭たちも広い視野を持って、子どもたちの安全を考えながら過ごせるように務める。
特別支援教育	現在、個別ノートでの記録や巡回指導を受けながら、よい良い子どもの育ちを考えた保育実践を行っている。 また、各所連携機関のとの連携がとれるように、打ち合わせなどを適宜行っている。 今後も引き続き、関係機関との連携を構築して行けるよう務めていく。
園に対する保護者の満足度の把握	自己評価でのアンケートで保護者からの様々なご意見をいただいたことを真摯に受け止め、改善できるところから着手する。 昨年度からの課題である内容については引き続き継続していく。 (園では、ブログを立ち上げているが、まだ保護者が得たいと思う情報までに行き着いていないと考えられる。 コロナ禍の中で、今一度情報発信の内容などを見直していく。)

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。